

薩摩川内市水道事業経営戦略計画（改定素案）に係るパブリックコメントの結果

水道局 上水道課、経営管理課

- 1 実施期間 令和8年1月9日（金）～令和8年2月8日（日）
- 2 受付人数 1人（ 1件 ）
※複数のご意見を提出している場合があるため、受付人数と意見数は一致しません。
※ご意見については、受付順に掲載しています。
- 3 意見の内容及び市の考え方

No	ご意見		ご意見に対する市の考え方	
	要旨と関連ページ	内容	方針	内容
1	—	水は生命の源です。水資源がどこでどうなっているのか、また、浄水場はどこでどこから水を汲んでいて、どのような処理がされているのか。ふと気になりました。浄水場の施設を実際に市民が見学することができるのでしょうか？水源はどこなのでしょう？近隣の自治体と連携はされているのか？設備投資はされているのか？気にかけてことがあります。 下水施設もどこでどのような処理をされているのか勉強したくなりました。川内川を綺麗にすることも大切なのでそこにも力を入れて欲しい。 災害が起こった際、断水しないのかなど、知りたいことが多い、ニュースで見たのだが外資系に水道事業を売った自治体もあるとかないとか。そのようなことにならないようにして欲しい。経営戦略はわからないが、水は生命線なので一番重要ではないでしょうか？施設ならびにどう言った運営をしているかを市民に広く知らせて欲しいです。	原案のとおり	水道は、私たちの生活に不可欠な水を安定的に供給する施設であり、生活基盤として欠かすことができません。薩摩川内市では、安全で良質な水を安定的に供給するため、毎年6月1日から7日を「水道週間」として位置づけ、水道の現状や課題について広く市民の皆様のご理解とご協力を得るために広報活動を行っております。 また、薩摩川内市田海町にある丸山浄水場において、毎年市内の小学4年生を対象に社会科見学を行っております。なお、受け入れについては、少人数の場合でも対応できる職員数が少ないことから事前にご相談を頂いております。 市街地への給水は、川内川を主な水源とし、丸山浄水場で浄化された水が、向鶴配水池と芸ノ尾配水池を経由して給水されています。 近隣の自治体との連携は、定期的に協議会を開催し、各自治体の問題点を出し合い、研究することで経営や技術の向上に向けて取り組んでおります。また、緊急時には漏水修理材の貸借も行っております。 設備投資は、耐震性の向上を考慮しながら、老朽化資産の割合を一定に保てるように、施設及び管路の更新・整備を進めています。 給水人口の減少等による水需要の減少、人件費、資材費の高騰などの社会情勢の変化の影響が大きいと考えられることから、5年毎に経営戦略の計画を見直し水道事業の運営を行っております。また、水道施設は統廃合やダウンサイジングを図りながら、迫りくる老朽化に対応できるように施設の更新や維持管理に取り組んでおります。